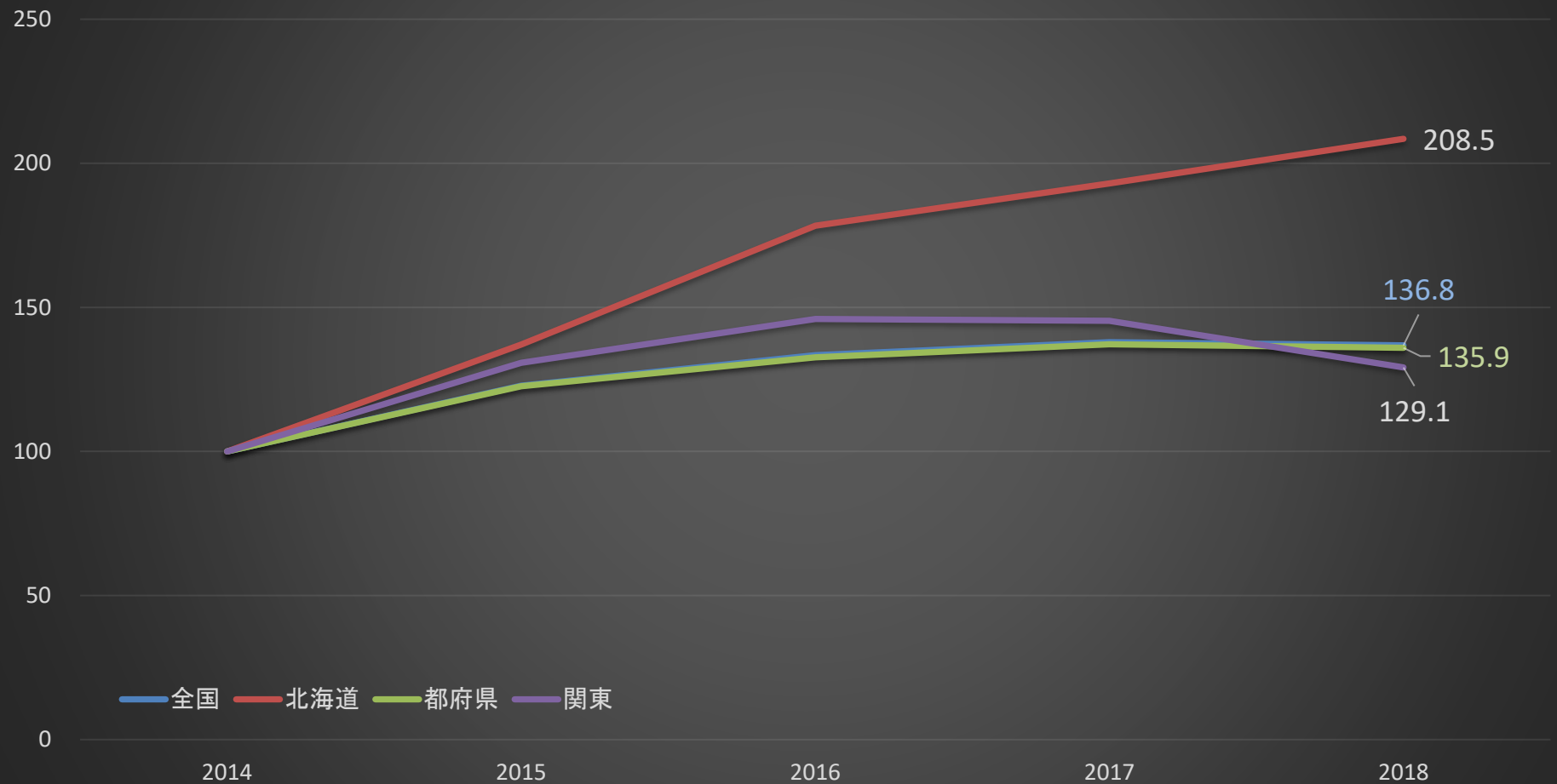
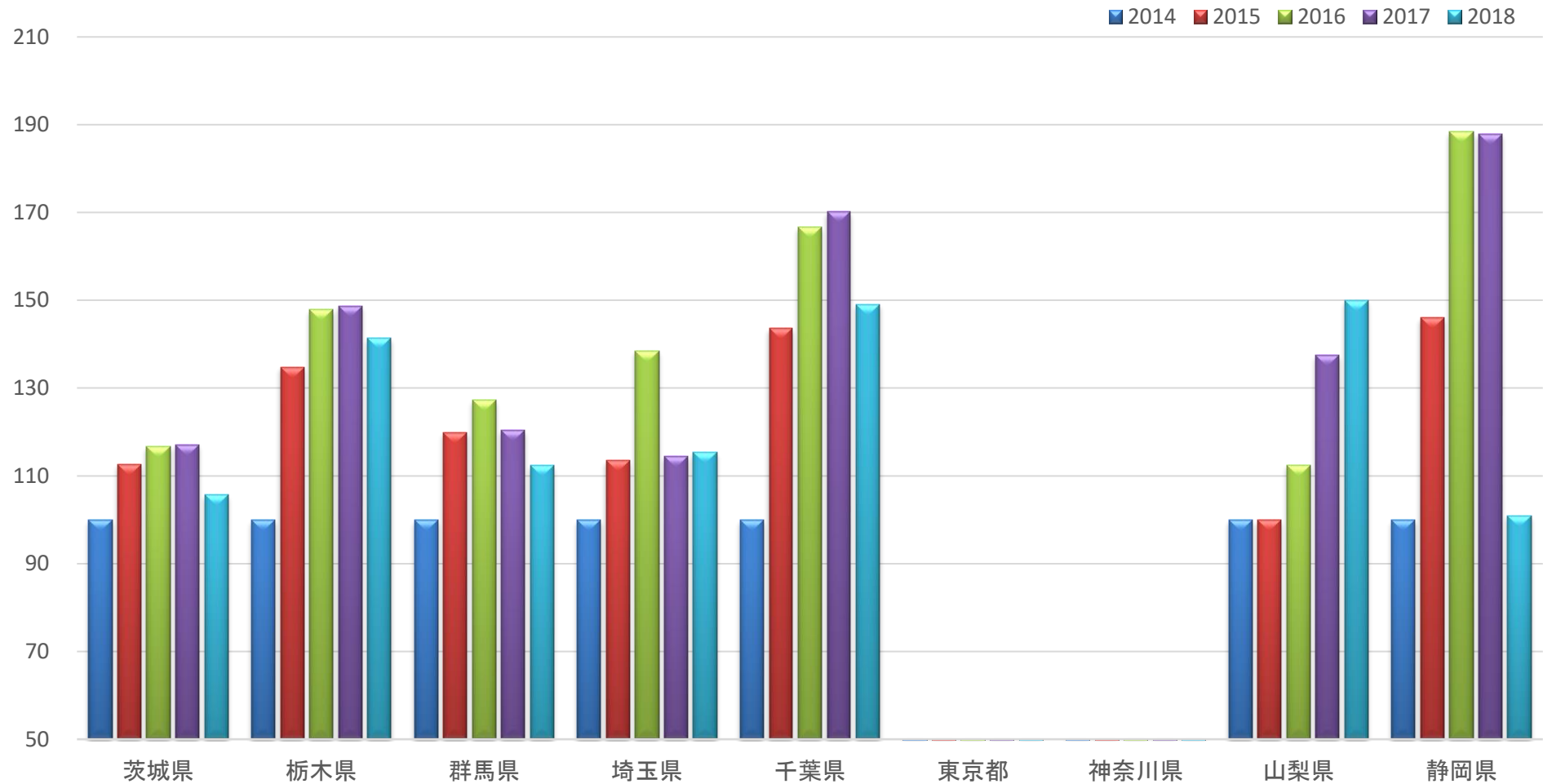


過去5年間の飼料作物（WCS用稲）作付面積の推移（2014年=100）



- 北海道は増加傾向。一方、都府県は微減、関東は前年に比べ15%程度減少した。
- 2014年に比べ、2018年産は北海道2倍、都府県1.3倍、関東1.2倍であった。

過去5年間の管内飼料作物(WCS用稲)作付面積の推移(2014年=100)



- 過去5年間で最も作付面積が伸びているのは山梨県1.5倍。次いで千葉県、栃木県。
- 2016年産までは全ての県で増加していたが、2018年産の増加は2県のみ(山梨県、埼玉県)。
- 東京都と神奈川県は作付け実績はない。

飼料作物作付面積(WCS用稲)

(単位:ha)

	2014	2015	2016	2017	2018
全国	31,100	38,200	41,500	42,893	42,545
北海道	259	355	462	500	540
都府県	30,900	37,900	41,000	42,391	42,006
関東	3,119	4,078	4,553	4,532	4,028
茨城県	520	586	607	609	550
栃木県	1,150	1,550	1,700	1,710	1,626
群馬県	462	554	588	556	519
埼玉県	104	118	144	119	120
千葉県	660	948	1,100	1,123	984
東京都	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-
山梨県	8	8	9	11	12
静岡県	215	314	405	404	217

資料:作物統計(毎年収穫期時点)